

第13回放射性医薬品・画像診断薬研究会

開催日 平成25年12月14日(土) 9:15開場
場所 京都ガーデンパレス 中宴会場「鞍馬」
〒602-0912 京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町 605
TEL: 075-411-0111 FAX: 075-411-0403

<プログラム>

開会挨拶 9:40 ~ 9:45

佐治英郎 (京都大学大学院薬学研究科)

セッション1

座長: 山本文彦 (東北薬科大学)

淵上剛志 (長崎大学医歯薬学総合研究科)

A-1 9:45 ~ 10:00

アミロイド結合性の向上を目指した ^{99m}Tc -ヒドロキサムアミド錯体の合成とその基礎的評価

飯國慎平¹、小野正博¹、渡邊裕之¹、木村寛之¹、中山守雄²、佐治英郎¹
(¹京大院薬、²長崎大院医歯薬)

A-2 10:00 ~ 10:15

腎放射活性の低減を目的とした放射性ガリウム標識 RGD ペプチドの開発

趙 天会、上原知也、根本創紀、花岡宏史、荒野 泰
(千葉大学大学院薬学研究院)

A-3 10:15 ~ 10:30

Gamma-Ray Emission Imaging (GREI) を用いた亜鉛錯体の生体内挙動解析

宗兼将之¹、本村信治²、神野伸一郎²、羽場宏光³、吉川 豊⁴、安井裕之⁵、榎本秀一^{1,2}
(¹岡山大院医歯薬、²理研 CLST、³理研仁科加速器研セ、⁴神戸女子大、⁵京都薬大)

A-4 10:30 ~ 10:45

高分子 MRI 造影剤による間葉系幹細胞の細胞シートイメージング

馬原 淳¹、小林直樹^{1,3}、圓見純一郎²、山本明秀²、飯田秀博²、平野義明³、山岡哲二¹
(¹国立循環器病研究センター研究所 生体医工学部、²国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部、³関西大学大学院 理工学研究科)

セッション2

座長： 小野正博（京都大学大学院薬学研究科）

上原知也（千葉大学大学院薬学研究院）

B-1 10:45 ~ 11:00

脳内プリオン感染イメージング薬剤の開発を目的とした ^{125}I 標識アクリジン誘導体の合成と評価

川崎仁央¹、淵上剛志¹、小橋信弥¹、山下有紀¹、原武 衛²、佐野和憲¹、中垣岳大¹、新竜一郎¹、西田教行¹、中山守雄¹

(¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、²崇城大学薬学部)

B-2 11:00 ~ 11:15

In vivo evaluation of radiobromine-labeled σ -bromo-trans-decalinvesamicol (OBDV) as a potential VACHT imaging probe

Azim Mohammad Anwar-ul^{1,2}、小阪孝史^{1,2}、鶴野いずみ^{1,2}、三輪大輔^{1,2}、北村陽二^{1,2}、小川数馬²、川井恵一²、清野 泰³、柴 和弘^{1,2}

(¹金沢大学・学際科学実験センター、²金沢大学大学院・医薬保健研究域、³福井大学・高エネ医学研究センター)

B-3 11:15 ~ 11:30

Li-Pilocarpine てんかんモデルラットにおける $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -HMPAO および ^{14}C -IMP の取り込みについて（幼若動物と成熟動物の比較）

財家俊幸、城野孝宏、柳本和彦、福地一樹、細井理恵

(大阪大学大学院医学系研究科医用物理工学講座)

B-4 11:30 ~ 11:45

グリア細胞における TCA サイクル抑制時の標識酢酸および標識 DG 取込みについて（標識位置および麻酔による影響）

城野孝宏、財家俊幸、柳本和彦、福地一樹、細井理恵

(大阪大学大学院医学系研究科医用物理工学講座)

【昼食】 11:45 ~ 13:15

セッション 3

座長： 平田雅彦（大阪薬科大学）
細井理恵（大阪大学大学院医学系研究科）

C-1 13:15 ~ 13:30

カセット式自動合成装置 CFN-MPS200 の ^{18}F -FLT 合成評価

相田一樹、佐々木將博、千田道雄
(先端医療センター)

C-2 13:30 ~ 13:45

フィチン酸を用いた放射性元素の体外除去剤の開発

角野須美、小川数馬、黄檜達人、小谷 明
(金沢大学医薬保健学総合研究科)

C-3 13:45 ~ 14:00

小動物用 SPECT 装置を用いた薬物動態評価

上原知也、檜垣佑輔、花岡宏史、荒野 泰
(千葉大学大学院薬学研究院)

C-4 14:00 ~ 14:15

ナノ粒子製剤「ラクトソーム」の体内動態： ^3H 標識体を用いた検討

友池文佳¹、牧野 顕^{1,2}、小野正博¹、木村俊作³、佐治英郎¹
(¹京大院薬、²福井大・高エネ研、³京大院工)

セッション 4

座長： 小川数馬（金沢大学医薬保健研究域薬学系）
牧野 頌（福井大学高エネルギー医学研究センター）

D-1 14:15 ～ 14:30

放射線金属核種を標識したラクトソームによる固形癌のイメージング

上田一樹¹、栗原研輔¹、原 功²、佐野紘平^{1,3}、木村寛之^{3,4}、小関英一²、富樫かおり¹、佐治英郎³、木村俊作⁵

（¹京都大学医学部附属病院放射線診断科、²（株）島津製作所基盤技術研究所、³京都大学大学院薬学研究科、⁴京都大学環境安全保健機構、⁵京都大学大学院工学研究科）

D-2 14:30 ～ 14:45

MAPK カスケードの機能解析のための新規 MEK 標的放射性プローブの開発に関する基礎的検討

三平崇太郎¹、天満 敬¹、佐野紘平^{1,2}、小野正博¹、佐治英郎¹
（¹京大院薬、²京大病院 RI）

D-3 14:45 ～ 15:00

メラノーマに過剰発現する代謝型グルタミン酸 1 型受容体を標的とする [18F]FITM-PET イメージング

謝 琳、由井讓二、藤永雅之、羽鳥晶子、山崎友照、張 明栄
（（独）放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター分子認識プログラム）

D-4 15:00 ～ 15:15

Survivin を標的とした新規腫瘍イメージングプローブの開発

溝口達也¹、淵上剛志¹、原武 衛²、間賀田泰寛³、中山守雄¹
（¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、²崇城大学薬学部、³浜松医科大学メディカルフォトニクス研究センター）

【休憩】 15:15 ～ 15:25

セッション5

座長： 間賀田泰寛（浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター）
河嶋秀和（国立循環器病研究センター研究所）

E-1 15:25 ～ 15:45

米国 FDA による PET 薬剤の GMP 査察の実際と工程解析技術（PAT）の取り組み

矢野恒夫^{1,2,3,4}

（¹大阪大学大学院医学系研究科、²大分大学医学部、³岡山大学大学院医歯薬学総合研究科、⁴住友重機械工業（株）産業機器事業部 設計部）

F-1 15:45 ～ 16:00

WHHL ウサギの動脈硬化病変におけるイルベサルタンの治療効果： FDG-PET 炎症イメージングを用いた評価

趙 芫¹、深尾圭太²、趙 松吉³、渡邊郁剛²、山崎一諒³、志水陽一^{4,5}、久保直樹^{4,5}、右近直之³、中野 亨²、玉木長良¹、久下裕司^{4,5}

（¹北海道大学大学院医学研究科 核医学分野、²塩野義製薬株式会社 シオノギ創薬イノベーションセンター、³北海道大学大学院医学研究科 トレーサー情報分析学分野、⁴北海道大学大学院医学研究科 応用分子画像科学分野、⁵北海道大学 アイソトープ総合センター）

F-2 16:00 ～ 16:15

5-アミノレブリン酸を使用した光線力学療法の治療効果を予測する PET プローブの開発

鈴木千恵^{1,2}、辻 厚至¹、菊池達矢¹、加藤孝一³、須堯 綾¹、須藤仁美¹、荒野 泰²、佐賀恒夫¹

（¹独立行政法人放射線医学総合研究所、²千葉大学大学院薬学研究院、³独立行政法人国立精神・神経医療研究センター）

F-3 16:15 ～ 16:30

抗がん剤の治療効果判定を目的としたアポトーシスイメージング剤の開発・評価

栗生木美穂¹、小川数馬¹、柴田知美¹、中山守雄²、小谷 明¹

（¹金沢大学医薬保健研究域薬学系、²長崎大学大学院医歯薬学統合研究科）